

JENESYS2015（招へいプログラム） （対象国：インドネシア、文化（文化芸術交流、演劇））の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、インドネシアより演劇に関心を有する大学生 16 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、1月8日から1月14日までの6泊7日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

インドネシア 16名

3. 訪問地

東京都、兵庫県

4. 日程

- 1月8日（金） 羽田国際空港より入国、来日時オリエンテーション
浅草視察
- 1月9日（土）【基調講演】東宝舞台株式会社にて演劇の現場見学
- 1月10日（日） 東京から兵庫県へ移動
ホストファミリー対面式、ホームステイ
- 1月11日（月） ホームステイ歓送会
【文化体験】歌劇の殿堂視察、宝塚歌劇観劇、宝塚に関するレクチャー
- 1月12日（火）【学校交流】大手前大学
ワークショップ（報告会準備）
兵庫県から都内へ移動
- 1月13日（水） 報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）
【学校交流】専門学校 東京ビジュアルアーツ
- 1月14日（木） 羽田国際空港より出国

5. JENESYS2015 プログラム記録写真
 インドネシア（文化、文化芸術交流(演劇)）訪日団の記録



1/9【基調講演】東宝舞台株式会社 視察（埼玉県岩槻市）



1/11 ホームステイ歓送会（神戸市）



1/11【文化体験】宝塚歌劇（宝塚市）



1/12【学校交流】大手前大学（西宮市）



1/12 ワークショップ（神戸市）



1/13 報告会（東京都）

6. 参加者の感想

◆ インドネシア 学生

日本はとても素晴らしい国で、訪れることができ大変嬉しく思っています。JENESYS のプログラムを実施して下さった日本政府に心から感謝申し上げます。このプログラムを通じて、文化や歴史、行動規範、先進的な技術の活用など日本に関する多くこのことを学ぶことができました。しかし、一番心が躍ったのは、ホームステイや大手前大学での学校交流プログラムでの日本の方との交流です。日本語がまだまだおぼつかないにも関わらず、とても楽しく交流することができ、日本人の生活についても経験することができました。大手前大学の学生は、とても良い人ばかりで、明るく、そして演劇も上手でした。日本人の友人が欲しいという私の夢を叶えることができ、嬉しく思っています。大手前大学では、漫画を描き、学生達とドラマの演習を行い、お昼ご飯も一緒に食べて終了という充実したプログラムでした。短い滞在でしたが、お昼を一緒に食べたことでお互いを知り、より親密になれた気がしています。新しい友人を得られて本当に嬉しいです。もう一度大手前大学を訪問し、みんなと再会を果たしたいと願っています。

◆ インドネシア 学生

この JENESYS2015 のプログラムに参加してとても印象的だったことは、どのプログラムにおいても訪日団は日本の方と直接交流できるように機会が与えられているということです。一番楽しかったプログラムは、日本のホストファミリーと一緒に過ごすホームステイです。文化や言葉など多くの障害はあったけれど、人の温かさや親交を深めようとの気持ちをとても強く感じました。ホストファミリーの皆さんとまた会えることを願っています。また東宝舞台への訪問や宝塚の観劇もとても楽しかったです。この二箇所では、舞台や制作に表れた練習や努力の成果を目の当たりにし、プロフェッショナルとはどういうものか学びました。

このプログラムに参加して学んだ日本が活用している進んだ技術や文化・慣習などについては、帰国後に発信していきたいと思っています。そして、東宝舞台への訪問で得た舞台美術制作の手法に関する学びを取り入れ、自分でも試していきたいと思っています。

◆ インドネシア 学生

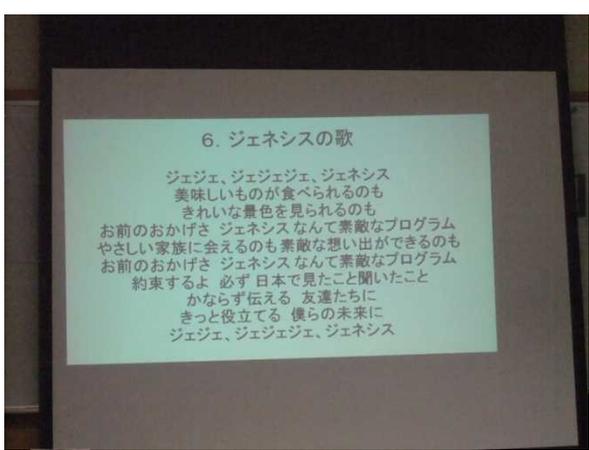
日本に滞在し、多くの場所を訪問して、たくさんの経験や体験を得ることができました。でも、一番印象に残っているのは、日本人のホストファミリーのお宅で、日本語で日常会話を交わしながらホームステイをしたことです。もちろん、四苦八苦ししました。日本語を勉強していたとはいえ、コミュニケーションは時にはぎこちないものに…けれど、ホストファミリーの方も私たちもお互いを理解しようとし、お家の中には温かい雰囲気生まれました。私たちをこんなにも快く迎えてくれました。言葉の他にも、同じアジア圏なので幾つかの共通点はあっても、やはり文化も異なりました。ご両親が子どもたちに家で教えている文化や行動などは大変素晴らしかったです。食事や眠る時間、家での決まりごとなど全てがきちんとしていて、家庭での生活様式を学ぶことができました。

◆ インドネシア 学生

日本に滞在した間、とても多くの事柄に驚かされました。列を作る文化、よく歩くこと、エスカレー

ターに整然と乗ることなど、一つ一つはとても些細で単純なことです。身近にいる他人に配慮するということでも大きな効果を持っています。その他に印象に残ったことは、技術の卓越した高さです。例えば新幹線に見られるように、交通手段の技術は大変高いです。信号や歩道の整備もされており、そのため交通渋滞も発生しません。そして、何より印象的だったことは、訪れた場所がどこもとても清潔できれいに片付いていたことです。これこそ見習わなくてはいけないと思い、私自身これから心がけようと思っています。これらのことを私自身が実際に訪問し、感動した場所の写真などを添えて、ソーシャルメディアで発信していこうと思っています。

7. 参加者の帰国後の発信 報告会での発表

	
<p>アクションプラン</p>	<p>アクションプラン</p>